

ウルマス・シサスク
銀河巡礼

ペルセウス座
カシオペヤ座
りゅう座
こぐま座
こと座
はくちょう座
いて座
ぼうえんきょう座
かじき座
レチクル座
じょうぎ座
みずへび座
おおかみ座
つる座
うお座
かみのけ座
プレアデス星団 より 2曲
みなみのかんむり座
かんむり座

Urmas Sisask Starry Sky Cycle
with Contemporary Dance

星
を
踊
る

語り
ピアノ
たかぎ
吉岡
踊り
アーティスト
たかぎ
ひろみち
吉岡
裕子
阿部
友紀子

照明 宇野 敦子

夢幻なる天空を巡る

2024年10月31日(木) 19:00 開演 (18:30 開場)

Half Moon Hall - 下北沢

全席自由 4,000円 学生 2,000円

東京都世田谷区北沢 4-10-4 (下北沢駅 徒歩8分)

主催 ミュージック・ポプリ 共催 LU LA LA DANCE

お問合せ&チケット取扱い E-mail: liblikas2022@gmail.com

後援 日本・エストニア友好協会
エストニア・ミュージック・プロジェクト



お申込み



Facebook

星を踊る コンテンポラリーダンサー 阿部 友紀子 Yukiko ABE



LU LA LA DANCE 主宰。舞踊家・コレヲグラファー。3才よりクラシックバレエを松崎すみ子に師事。モダンダンスを折田克子・石井みどりに師事。01年文化庁新進芸術家海外研修員として渡仏（パリ1年滞在）以降、04年まで渡独。デュッセルドルフ市タンツハウスを拠点に活動し、ソロ「優しい肌」を発表。映像家・美術家とのコラボレーション等、幅広く活躍。セルビアモンテネグロ（ティバット）にてデュッセルドルフ市との文化交流アーティストに選ばれ、日本人では初めて、モダンダンスソロを発表。現地の新聞・TV・ラジオ出演等、高い評価を受ける。近年は、両国シアターX、ライブハウス等で活動。即興コレボレーションライブ等に参加等。ライブハウスKIWA、中目黒fj'sにて「LU LA LA DANCE Café vol. 1.2.3」主催ライブを展開。詩人とのコラボレーションライブを開催している。「心と身体にいい時間WS」などを開催し、ジャイロキネシス、ダンスを通しボディコンディショニングも展開している。現代舞踊協会新人賞、東京新聞全国舞踊 конкурс創作部 第2位受賞等。 公式HP : <http://www.lulaladance.com>
Facebook : <https://www.facebook.com/LuLaLaDance>

星を奏でる ピアニスト 吉岡 裕子 Yuko YOSHIOKA



武蔵野音楽大学、同大学院修了。ピアノを福元サザレ、永島恭子、G.ベルグ、山田彰一、E.トゥーシャの各氏に、ピアノデュオ演奏法をH.P=ロジェ氏に師事。ヴェルビエ音楽祭（スイス）、ショパン音楽セミナー（ポーランド）などで研鑽を積む。第1回全日本フランス音楽コンクール第2位。八ヶ岳高原音楽堂のコンサートに多数出演のほか、各地でリサイタル開催。05年にシサスクに出会ってからは彼の連作ピアノ曲集《銀河巡礼》の完成を見守った。CD『シサスク：銀河巡礼』を3枚リリース、エストニアのピアノ作品の初演、シサスク来日公演「星を聴く人、ウルマス・シサスク～館野泉とその仲間たち」、エストニアでの「シサスク60歳記念コンサート」（サレマーラ島、カドリオルグ宮殿）に出演。エストニアでは数回のラジオ放送に取り上げられた。近年は天王洲アイルKIWAにて、星の映像、ナレーションとのコラボによる《銀河巡礼》全曲演奏（全4回）を行う。アトリエミストラル（高崎市）ではプレイヤルピアノによる5回のリサイタルシリーズ「モーツアルト&ショパン」を開催。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科ピアノ講師。 公式HP : <https://www.yuko-yoshioka.com>

星を語る ナレーション たかぎ ひろみち Hiromichi TAKAGI



現在Office AAIとして俳優部・演出部・制作部など、役割にこだわらず広く舞台とテレビ・映画の現場に関わっている。愛知県出身。茨城大学人文学部卒業。国語教員免許取得。ELS Language Center level 108修了。その後、東宝現代劇養成所で演技者の基礎を学ぶ。演出等を菊田一夫の流れをくむ平山一夫に師事。蜷川幸雄演出「にぎり江」を初舞台に商業演劇や小劇場に多数出演。2001年より宝塚歌劇の進行係や東宝作品の演出部を担当しながら、自らもオリジナル作品を発表。近年は映画・ドラマ制作やNHK「ファミリーヒストリー」調査等、映像番組制作にも活動領域を広げる。吉岡裕子氏の「銀河巡礼」演奏では、シリーズ全4部の朗読を担当させていただいた。【出演】舞台「冬の馬」（清水邦夫脚本）吉村研一役（主役） 映画「サンゴレンジャー」（役場職員役）【劇作・演出】「わかくさのうた」「RENDAN」「KNF20:02」「あめざいく ゆめざいく」【作詞】合唱曲「心に咲く花」「光れ！」【スタッフ】東宝ミュージカル「ファンレター」演出部【テレビ】NHK総合「ファミリーヒストリー」高嶋政宏編他 取材

星を聴く ウルマス・シサスク Urmas SISASK



作曲家ウルマス・シサスクは、アマチュア天文学者でもある。1960年、エストニアのラップラに生まれる。85年にタリン音楽院を卒業し、98年まではヤネダに在住。同地のマナーハウスに「音楽と星の塔」を設立した。作品は多彩なジャンルに及び、ピアノ曲、合唱曲、オーケストラ作品のほか映画・舞台音楽、宗教曲などがある。最初の作品は14歳の時に壮大な天の川に魅了されて作った《カシオペア座》。以来、宇宙は彼にとってインスピレーションの源泉となる。自ら世界各地に足を運び、天体観測も行なってきた。88全ての星座に音楽を書き表わしたいと願い、40年もの歳月をかけたライフワーク、連作ピアノ曲集《銀河巡礼》は、2018年春に完結。シサスク氏自身も演奏やナレーション、映像によって、星空、宇宙の魅力を伝え続けた。2022年、62歳にて逝去。 (Photo by Y. Yoshioka)

